



モダンタイムス

2010年2月号

2010年も二月に入りました。12日よりいよいよ冬季オリンピックの開幕です。橋本聖子選手団長によると、「今回は10個のメダルを獲得する。」と頼もしいお話です。スキーターも期待できる選手が何人も出場しております。期待にこたえ、是非、表彰台に立ってほしいものです。これからの2週間は、テレビの前で、熱い時を過ごせそうです。

★2月行事報告

2月6～7日群馬県尾瀬岩鞍スキースクール

参加者 刈込万友 石井宏 谷村剛生 山田敏幸 斎藤清 畠山雅男 久保秀明 田島充 栗本藤四郎 高山達郎 志賀純一 佐川潔 玲子ご夫婦 高荒薫 (旧姓進藤) 高荒豪夫 東悟 (5歳) みなみ (1歳) 斎藤碧子 (12歳) 豪 (7歳) 釜堀湖智 (12歳) 菊池規 飯岡ご夫婦 (土曜1日) 佐藤斎 (日曜1日)

月初めの土 日、そして民宿を利用し、比較的に近いスキー場が影響したのか、久しぶりに、延べ24名の近年にない参加人数で、内1名はホームペーじより参加し(菊池氏)にぎやかなスクールを開講できました。一番困ったのは交通手段で、自家用車利用が2台有り、バスも考えましたが予算的に、クラフ員の車4台で対応を致しました。

正月行事と同じように参加者の都合を考え、出発場所、及び時間を設定し、1号車が午後8時小岩を出発、4号車が午後10時に門前仲町を出発、それぞれ3時間程度の時間で尾瀬に到着、午前1時頃全員顔を合せました。私の車が一番遅かったのですが、宿に到着した時には先着組が部屋の段取り、布団までひいてくれていて、後は飲んで寝るだけと大変たすかりました。ただ企画する側としては、各自の時間、場所、車の乗車人数など、全てに合わせるは大変な作業で、多少の不便は許していただきたいと思います。

交通事情は比較的良く、すいていきましたが、天候はどうにもなりません。沼田近くより雪になり、到着したころは大荒れ、これが2日間続きました。正月も大変でしたがそれ以上だったかもしれません。

朝食を済ませ、9時に玄関前に集合した頃は、道も真っ白、風も強くゲレンデに着いた時には完全に大吹雪状態、ゴンドラは運休、リフトも三分の二は止まり、これが一日つづきました。

スキーは自然を相手にするスポーツで、晴れ、雪、曇りと色々ありますが、前も見えない大吹雪は相手にしたくないです。

体操の後、班分けです。今回は大所帯のことから5班に編成をしてみました。まずは大人組(全員中～上級者)を、谷村 斎藤 畠山の3名の講師に担当してもらい、石井講師に小学6年生2名と志賀さん、そして私が、初めて組の2名。斎藤豪(7歳)と高荒東悟(5歳)を担当しました。

上級班3班は、天候のせいで動いているリフトの数も少なく、待ち時間もたはいへんで結局ひとつの団体で行動し、前も見えない大吹雪の中、四苦八苦しながらの1日だったようです。石井班は、さすが経験豊富なベテラン指導員です、子供達と志賀さんの3名を急斜面以外ならどこでも滑れる位に指導し、皆、楽しそうな笑顔をみせていました。

最後に私の班です。豪は1年生、東悟は5歳、講師というより保父の仕事を務めた1日でした。まず東悟の話です。自分の娘を初めてスキーに連れてきた頃を思い出しながら、板を履かせ、歩かせ、寒くて泣きだした顔を手ぬぐいで替いてあげ、なだめながら横歩きをさせ、今度は「おしっこ」です。豪をゲレンデに「絶対ここをうごくなよ」と言い聞かせ、東悟を抱いてトイelh、用を済ませると豪がいらない。探すど斜面の下、この日は1回も板を履くことがありませんでした。豪は、ただ黙々と歩いては滑りを繰り返しており、5歳と7歳の年の違いはかなりのものだと、あらためて感じました。天候がよくなる条件が良ければ、また違った1日だったとおもいます。楽しい思い出作り、又スキーに来たい、と思う様にしたかったのですが、少し心配です。



二日目は親に返しましたが、豪は父親の斎藤講師とリフトに乗り、楽しそうに滑っていて安心しましたが、東悟は滑らない、と言ってゲレンデへは出ずじまいでした。

二日目も朝から荒れ気味の様子です。8時半の送迎を9時に遅らせゲレンデへ。ただ11時頃には天候も少し回復しゴンドラが動き始めました。一番に乗車し、頂上からの3キロのロングコースです。おまけに前日に整地した後の豊富な新雪、正月同様めつたに経験できない素晴らしいコース条件で滑りを堪能し、皆、喜んでおりました。

宿の栄地屋は、昔、クラフアの石川さんや奈良橋さんがよく行かれた常宿で、色々よくしていただき、食事も広間を使わせてもらい、夕食時はカラオケ付きの大宴会になりました。子供達も大はしゃぎで、昼間の寒さなどわすれ、又来たいと、喜んで遊んでいました。帰りにはお土産までいただき大変お世話になりました。宿舎担当として色々段取りしていただいた奈良橋さんにはお礼申し上げます。

今回は10年ぶりに、薫さんが家族で、又ホームページで菊池さんが参加してくれましたが、あいにくの天候で後悔しているのではと、心配しておりましたが、大変楽しく、又機会があれば参加します。と言われ、ほっとしたところで2月行事報告を終わらせていただきます。みなさんお疲れ様でした。

☆教程改訂

前号のモダンタイムスでお知らせした、教程の柱である【自然で楽なスキーのすすめ】がありますが、もうひとつ大きな柱があります。それは指導者向きの内容ですが【個性的なスキー（自己流）のすすめ】です。自己流といっても技術が自分流という意味ではなく、多様なスキーヤーの目的、趣向にそった指導をし、スキースポーツの視野を広げ活性化させよう、といった事です。今のゲレンデは、カービング、フライング、フリースタイル、テレマーク、といった様々なタイプのスキーヤー、おまけにスノーボード、スノーシューといった人達もいます。モダンに参加する人達は、自分を含め基礎スキー志向の人達ばかりですが、技術習得が目的になると、滑る楽しさが行きつまる様な気がします。どこでも、どんな所でも滑れて、楽しい。その為の技術上達、という考えが生涯スポーツとして正論のように思えます。そういう意

味では今回の新雪、3キロのロングコースは、大変良い経験だったと思います。我々もおしきせや、当たり前の指導ではなく、色々な側面からアプローチして、クラブやスキースポーツを盛り上げたいと考えております。

☆3月志賀一の瀬スキースクール募集

3月20～22日 3月後半でも雪質が良く、志賀ならではの広大なロングコースを堪能しませんか？シーズンを締めくくするには絶好なスポットです。事務局までお申し込みお待ちしております。

☆後記

今回初めて参加した菊池さんは、岩手県スキー連盟に所属しており、転動で東京にきたそうです。滑りも上手で、クラブ員も刺激を受けていたようです。

都合で1日しか参加できなかった飯岡ご夫婦、佐藤斎さん、久しぶりに元氣な顔が見ることができ、嬉しかったですよ

モダンホームページを活用して下さい

アドレス <http://modern-ski-id.jp/infoseek.co.jp/>

モダンスキークラブ で検索 Yahoo 楽天で

文 刈込 万友



写真提供： 久保 秀明，谷村 剛生

クラブ員投稿

飯岡 一

2010年第二回 尾瀬岩鞍スキースクール

楽しみにしていた2月のモダンスキー参加の予定が、日曜仕事が入ってしまい、一日だけでもと日帰り参加とし、6日早朝4時尾瀬岩鞍へ向かって出発です。

関越は雪の影響で赤城高原よりチェーン規制あり、高崎あたりより渋滞です。沼田インターを降りてからもノロノロ状態です。これは本日の予兆だったのでしょうか。

栄地屋さんへ挨拶だけでもと寄ったのは8時30分過ぎでした。

9時過ぎにグレンデで皆と合流。その時悪天候のため、西山リフト、ゴンドラの運転中止のアナウンスが流れていました。滑れるコースが少なくなりました。

全員集合し畠山講師の号令のもと準備運動をし、刈込会長の挨拶のあと班分けを行いリフトに乗りました。

一本滑っただけであまりの寒さと地吹雪を起こすほどの風と雪の為視界が悪く早くもギブアップ気味。連続して滑れば少しはからだが暖まるが、とにかく寒い。人によっては顔についた雪が解けそれがつらら状態になってる程です。それでもこんな悪条件にもかかわらず講師の皆さんは安定した滑りを見せてくれ我々の見本となるべく姿を示してくれていました。あまりの寒さに休憩を希望する声が早々に聞こえていました。

午後からは谷村講師の講習のもと「苦手な足一本だけに重心を置くような気持ちで滑って下さい。」と皆、果敢にトライするも緩斜面とはいえ深い新雪に足をとられ降りるのがやっとなという感じでした。「片足に乗ることによって板をフラットにしターンの時、前に重心移動しなければスムーズなターンはできない。と言うことが分かるかと思います。」と言う内容でした。(で、良かったですか?)あまりの寒さで喋るのもおっくうになるくらいの中で講習をして頂き有難うございました。

午後の休憩時に、私たちは翌日の天気が回復することを祈りつつ皆さんとお別れしました。6日夜、志賀高原の前山グレンデが雪崩をおこしホテルを直撃したとのこと。例年熊の湯を利用している中で、今回尾瀬岩鞍になったのは何が働いたのかな?と思いつつ、やはり今日の雪の降りかたは尋常ではなかったと感じた一日でした。

是非今度ベストコンディションの尾瀬岩鞍を満喫していただきたいと思います。きっと満足して頂けると思います。それでは、飯岡でした。